

平成27年5月18日

各位

会社名 日本ラッド株式会社
 代表者名 代表取締役会長 大塚 隆一
 (JASDAQ・コード4736)
 問合せ先 経営企画室 土山 剛
 (03-5574-7801)

通期業績予想値と決算値との差異および特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

平成27年3月30日に公表しました平成27年3月期通期業績予想値と本日公表の決算値との差異および特別損失の計上について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と決算値との差異について

平成27年3月期 通期連結業績予想値と決算値との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表(A)	3,059	△297	△301	△540	△132.44
決算値(B)	3,082	△280	△284	△1,212	△297.05
増減額(B-A)	23	17	17	△672	
増減率(%)	0.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	3,717	11	3	117	29.18

平成27年3月期通期個別業績予想値と決算値との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(百万円)	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表(A)	3,057	△265	△506	△124.15
決算値(B)	3,082	△242	△1,173	△287.56
増減額(B-A)	25	23	△667	
増減率(%)	0.8	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	3,550	29	42	10.46

差異の理由

以下の理由で、固定資産の減損損失6億98百万円を計上したことにより、最終損益が前回予想を大幅に下回る結果となりました。

2. 特別損失の計上について

外気排熱型データセンター事業における先行投資分の減価償却負担が収益圧迫の主たる要因となっておりますが、今期以降の収益性の改善を図ることが株主の皆様に対する喫緊の課題であるとの認識の中、抜本的な構造の改善を図るべく検討を重ねてまいりました結果、現在の事業環境を鑑み、今般当社が保有する都内のデータセンターで冷却設備を利用した従来型1棟と外気排熱型1棟の計2棟の内、外気排熱型1棟及びその付帯設備を全額減損処理する事と致しました。

本減損処理により次期45期の減価償却費は約1億40百万円減少し、同額の経常利益の改善が見込める予定です。

また当該データセンターに格納中のサーバー等については本年度中には従来型データセンターへの移行を完了予定にて、売上、サービスレベルはこれを維持しつつ、設備の集約と運用の効率化を更に進め経費を圧縮することで、事業収益性を更に改善してまいります。

以上